

創立 1964年 6月16日  
 設証 1964年10月19日  
**第2510地区 第11グループ**



2003～2004

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報



2003～2004年度  
 3月15日  
 国際ロータリーの手を貸そう!

**ロータリーとは**  
 ・ロータリーは、事業および専門職者に携わる人々の世界的奉仕団体です。ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において徳義の道徳的基準を守ることと奨励し、世界平和と平和を旨として尽力しています。  
 ・ロータリーは、世界で最大の奉仕クラブです。最初のロータリー・クラブは、1905年2月23日に、米国イリノイ州シカゴで創立されました。  
 ・ロータリーは、毎週、例会を開いて、親睦を深め、地域社会や国際社会にとって重要な問題について興味深く有益なプログラムを楽しんでいます。  
 ・ロータリーは、推薦制度によって入会し、その全会員は、推薦制度の厳格な審査を要します。  
 ・会員組織は地球社会の横断面になっています。



- 四つのテスト  
 ……実行はこれに限られてから……
1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

北村 祐治 会長テーマ『YES, I DO!』さあ、行動しよう!



10月22日卓話 岩塚 晃一氏

## 《第1941回例会》 第17号 10月29日(水)

### 本日のプログラム

卓話 「住民基本台帳ネットワークシステムについて」

函館市市民課記録係 係長 鈴木 良和氏

★会長 北村 祐治(干尋) ★幹事 柴崎 晃

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
 例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

## 医療法人社団 藤 紀 会 斉藤 消化器科 医院

院長 斉藤 紀一  
 函館市万代町1-13(サイエー万代店構)  
 TEL(0138)45-1118(代)

(広告掲載：斉藤 紀一 会員)

函館北ロータリークラブはweb(ホームページ)を公開しております。

http://www.hakodate-north.org/  
 e-mail: rtr@rotary@hakodate-north.org

2003-04年度 函館北ロータリークラブの事業目標

1. 一般社会の健全化—— 創立50周年に向けて
2. 親睦「この方と出逢った日」—— 2003年9月21日創立記念式典・懇親会が最大の「親睦の日」
3. 奉仕—— \*地域社会：市入交通安全車(1500名)の寄贈(記念事業)  
 \*ロータリーによる新世代への教育開発・奨励開発を目指す。  
 \*国際奉仕：国際奉仕活動の“手”を育てる  
 \*国内奉仕：函館奉仕活動の“手”を育てる  
 \*「1340地区イノブシクラブ・シヨウジカワクラブ・タマツクリクラブ」を通じて、小学校の図書贈交運動のため、本館・机・本1500冊などの物品を寄贈する。』  
 \*「R1340地区イノブシクラブ・シヨウジカワクラブとの情報交換」を推進し、合わせて会員行業の情報交換に貢献する。  
 \*「反人言動」の成長を促す。『手』を貸しましょう。  
 ——Level a Hand and Take Action with our heartfelt care  
 ——for Rotary's international vision!

### ◎10月8日出席報告

会 員	出席率対象会員		出席率
	出席	欠席	
当日出席	25名	14名	64.3%
他クラブ出席	6名	31名	81.58%
出 席	合計		81.58%

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26-3170 番

### 次回・11月5日 プログラム

卓話 「不正薬物、銃砲の密輸入の動向」

函館税関長 弥陀 久男氏

◎司会 北村 祐治 会長 ◎斉唱 それでこそロータリー、四つのテスト

◎ゲスト 函館農素榊 取締役社長 里見 泰彦 氏

◎ピジター 函館R.C.川端久雄君・高橋研二君、函館東R.C.日下部一博君

◎会長報告 北村 祐治 会長

○地区ガバナーよりの要請で十勝沖地震義援金1人1,000円として4万円を贈る事になりました。

○10月18日函館ソングクラブ創立30周年記念式典に当クラブから8名出席予定です。

◎幹事報告 柴崎 晃 幹事

○2004年5月23日～26日に大阪で開催されます国際大会の登録案内が来ました。

登録料は12月15日までに申し込むと会員一人300ドル、ご夫妻で400ドルとなります。参加ご希望の会員は11月末日までに幹事へお申込ください。

○10周年記念の写真が出来ましたので、今週、来週申し込みお願い致します。

◎親睦活動委員会 渡部 二康 委員

ニコニコBOX投入報告

里見泰彦氏(ゲストスピーカー)……BOXに協力。

北村 会長……里見様本日はようこそおいで下さいました。

山下(御)会員……BOXに協力。

増田 会員…… ”

戸栗 会員…… ”

小笠原会員…… ”

松見 会員…… ”

青山 会員…… ”

高田 会員…… ”

千葉 会員…… ”

◎卓話 「ステンレス製魔法瓶の開発について」

函館農素榊 取締役社長 里見 泰彦 氏

今日は私が日本農素在籍時に開発にたずさわったステンレス製魔法瓶の話をさせていただきます。

当時、私を含め3人の社員が「経営の多角化のため、何か新商品を開発せよ」との命を受け市場調査を行ったところ「割れない魔法瓶を市場は求めている」と判断し、「夢の割れない魔法瓶」の開発に着手しました。

会社自体も重厚な商品を扱っていたため、日銭の入る商品が欲しいという事も開発の後押しとなりました。

本業は農素やチリ、アルゴン等を製造し、大手金網メーカー等に販売していましたが、その技術の工程の中で真空断熱技術を保有してましたので、これを応用して開発が進みました。

そして、さまざまな失敗や苦労を経て、「夢の魔法瓶」が出来、安いコストで大量生産する事ができるようになりました。

販売本数は販売後4年間で100万本、10年で700～800万本、ピーク時はアウトドア用品が注目された時期で、1000万本の市場へと成長しました。

日本でのシェアは4割で、最大の市場でもあります。

新商品を商品化するまでの苦労は大変なもので、プロジェクトを組む事から始まり、アイデアを出す→市場調査→技術的に作れるか→売れるか等を考慮しなければなりません。社内でのコンセンサスを得る事も大切だと思います。

もっと生々しいお話もありますが、今日はこの辺りで……。

(公報担当者：青山 栄一 委員)

## ◎親睦活動委員会 増山 正 委員

## ニコニコBOX投入報告

北村 会長……ゲストスピーカー岩塚様を歓迎して。

柴崎 幹事……BOXに協力。

大谷 会員……今日、取引が成立しました。

小笠原会員……BOXに協力。

野田 会員…… ”

増山 会員……ゲストスピーカー岩塚様を歓迎して。

## ◎卓話 「函館市民が創るクリスマスファンタジー」

㈱函館帝産バス 取締役社長 岩塚 晃一 氏

## ＜事業目的＞

1. 「冬季観光の推進」
2. 「市民・企業・行政の一体型の取り組み事業」
3. 「姉妹都市カナダ・ハリファックス市との友好促進」

## ＜事業概要＞

姉妹都市カナダ・ハリファックス市からモミの木を寄贈していただき、電飾などを施しペイエリア洋上の船上に設置する。この「海に浮かぶ美しい巨大クリスマスツリー」をメイン事業とし、メイン会場や市内各地で各種催し物を開催する。

## ＜今年度の重点テーマ＞

このイベントをより多くの市民に知っていただき、さらなる市民参加で創り上げるものへ発展させること

## 1. クリスマスファンタジー出現までの経緯と現在まで～

(1) 1992年、函館で(社)日本青年会議所全国大会開催

⇒15000人が来函、1人当たり10万円消費、経済波及効果43億円

(2) 1994年、函館コンベンション・ビュローの立ち上げ

(3) そうした経緯から、街の活性化として「観光」に着目した

☆函館市の観光構想～年間観光客を500万人から750万人へ

☆ホテルの稼働率は、夏場90%、冬場40%であり、冬場の増加が決め手

☆函館の特性を生かした冬のイベントはないか？

↓

函館を日本一、クリスマスの似合う街に！

⇒雪の降る街でないといけない

⇒ロマンティックな街でないといけない

↓

はこだてクリスマスファンタジー構想

(4) 第1回(1998年)～第3回(2000年)まで

⇒青年会議所が実行委員長

(5) 第4回(2001年)～第5回(2002年)まで

⇒観光コンベンション協会が実行委員長

## 2. これまでの成果や反響について

(1) 1999年(社)日本青年会議所北海道地区褒賞 道知事賞

(2) 同年(社)日本青年会議所全国褒賞 準グランプリ

(3) 日銀函館支店発表による経済波及効果～開催5年間で73億円

主要ホテル宿泊客数、ロープウェイ搭乗者数、五稜郭タワー搭乗者数について平成9年(1997年)12月実績を100とした場合、ファンタジー開催年の平成10年度はそれぞれ103、112、111であったものが、5年目の平成14年度は133、167、141と軒並みアップになっています。

## 3. 今年度(第6回目)の概要

今年度のイベントの特徴はカナダ大使館の協力のもと、ハリファックス出身の5人組バンドの来日出演です。これは初日の12月1日に予定されています。

また、実行委員会の構成団体は函館市、函館商工会議所、(社)函館国際観光コンベンション協会を中心とした27団体で構成されています。

◎司 会 北村 祐治 会長 ◎斉 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ゲスト 函館商産バス 取締役社長 岩塚 晃一氏

◎ピジター 函館R.C.川端久雄君、函館東R.C.横山俊久君

◎会長報告 北村 祐治 会長  
○2005-2007年度R1理事として群馬県高崎北ロータリークラブ会員、重田政信氏が指名されました。

○函館ソノタクラブ創立30周年記念式典並びに長万部R.C.への例会出席報告  
○今井定一会員へ米山功労者の感謝状並びにポール・ハリス・フェローのメダルが届けられましたので伝達致します。



◎幹事報告 柴崎 晃 幹事

○当クラブ11月12日の例会は夜間例会として開催いたします。今 均 ガバナー補佐も出席予定です。

○2004年国際大会のご案内を致しましたので、ご参加くださいますようお願い致します。12月15日申し込み分まで登録料3000ドルです。以降少しづつ高くなりま

すので、11月中の登録をお願いします。  
○函館R.C.10月30日自主休会、函館東R.C.11月11日夜間例会に変更です。  
○本日6時30分大黒屋に於て歴代会長会を開催しますので、歴代会長の方ご出席お願

いします。

4. 今後の課題

財政面が一番の課題ですが、今年度は約4500万円の予算での運営を予定しています。補助金なども頂いておりますがほとんどは協賛金や寄付金であり、その不足を補うべくオリジナルグッズの作成・販売もしています。

人材面においても市民ボランティアを強化したいと思っています。今年度は新たに大門祭実行委員会や函館大学、未来大学の学生さんにも参加していただくことになり、若い方々の方で強化して行きたいと思っています。

イベントの内容についても、ベイエリア（金森倉庫周辺）だけが盛り上がりつつあるだけ、どの声も聞かれないので、ベイエリアを発信地として市内全域を盛り上げ、さらに市内だけではなく大沼や渡島全域へと拡大していきたいと思っています。大沼は雪・氷もありすばらしい景勝地でもあるので、観光客が1日目は函館、2日目は大沼周辺と数日におわたって滞在して楽しむイベントに成長させていきたいです。

また、期間については今年度は12月1日から25日までですが、これを2月、3月までひっばって、12月だけのイベントではなく、冬季をどうしてのイベントにしていきたい、そうすることによって冬季は道東へ流れている観光客を道南へ持ってくることができるとはと考えています。

(会報担当者：渡部 二康 委員)